

# 中村福治教授の略歴・業績目録

## 略歴

- 1946年 7月23日 大阪府岸和田市に生まれる  
1969年 3月 小樽商科大学卒業  
1971年 3月 東北大学大学院農学研究科修士課程修了  
1974年 3月 東北大学大学院農学研究科博士課程単位取得退学  
1977年 4月 立命館大学経営学部助教授  
1987年 4月 立命館大学経営学部教授  
1994年 9月 立命館大学国際関係学部教授  
2005年 4月 立命館大学国際関係学部名誉教授  
(学内役職は省略)

## 業績一覧

### 著作

#### 単著

- 『戦時下抵抗運動と「青年の環」』部落問題研究所 1986年10月  
『融和運動史研究』部落問題研究所 1988年 3月  
『北川宗藏 一本の道をまっすぐに』創風社 1992年 9月  
『金石範と「火山島」 済州島4・3事件と在日朝鮮人文学』同時代社 2001年 8月

#### 共著

- 『日本帝国主義の経済政策』後藤靖編 柏書房 1991年 6月 第九章「植民地朝鮮地主制研究  
の二、三の論点 張矢遠氏の近業を中心に」(291-321)  
『日本地主制と近代村落』安孫子麟編 創風社 1994年10月 「朝鮮地主制研究の新たな動向」  
(73-97)

## **単編著**

『日本における地主的土地所有の危機』村上吉作（野村耕作）著 文理閣 1988年9月  
『経済学方法論』北川宗蔵著 こぶし書房 1995年9月

## **論 文**

- 「昭和恐慌以降の農業と農村体制」共著『小牛田町史』中巻 1973年3月  
「農地改革期の小牛田農業」『小牛田町史』下巻 1973年6月  
「食糧増産から適地適産へ」『小牛田町史』下巻 1973年6月  
「基本法農政から総合農政へ」『小牛田町史』下巻 1973年6月  
「大正・昭和期における地主貸金会社の展開過程 - 宮城県遠田群北浦村千葉株式会社の分析」  
『東北大学農学研究所報告』25巻1号 1973年  
「野村耕作（村上吉作）の日本地主制論」『経済』128巻 1974年  
「野村耕作（村上吉作）の天皇制国家論・戦略論」『東北大学農学研究所報告』27巻1号 1975年  
「高橋貞樹と水平運動」『部落問題研究』51巻 部落問題研究所 1976年  
「1920年代前半期の融和政策」『部落問題研究』63巻 部落問題研究所 1980年  
「1920年代前半期の融和政策・融和運動」藤井・岩井・後藤編 『日本近代国家と民衆運動』  
有斐閣 1980年9月  
「内部自覚運動の形成と融和運動」『立命館経営学』20巻1号 1981年  
「『融和事業の総合的進展に関する要綱』の決定、並びにその改訂をめぐる諸問題」『立命館経  
営学』20巻3号、4号 1981年  
「部落経済更正運動の展開と融和運動（上・下）」『立命館経営学』20巻2号、5・6号合併号 1982年  
「近・現代部落史研究の成果と課題」『部落問題研究』77巻 部落問題研究所 1983年  
「昭和恐慌下の水平運動」『日本史研究』247巻 日本史研究会 1983年  
「15年戦争下融和運動における模範青年の思想と行動」『部落問題研究』80巻 部落問題研究所 1984年  
「明治・大正期の大坂農業」『大阪府農業史』大阪府農業会議 1984年7月  
「近代」（池田正との共著）『近代京都の部落』部落問題研究所 1986年11月  
「北川宗蔵の読書・研究遍歴」『立命館経営学』25巻6号 1987年  
「戦後の北川宗蔵」『立命館経営学』27巻3号、4号 1988年11月  
「北川宗蔵の弁証法把握の特質」『立命館経営学』28巻2号 1989年7月  
「北川宗蔵の経営学批判の方法の生成過程」『立命館経営学』28巻3号 1989年9月  
「北川宗蔵の経営学批判の方法」『東北大学年報経済学』51巻2号 1989年12月  
「未解放部落の支配構造に関する若干の論点」『研究年報経済学』53巻4号 東北大学経済学会  
1992年3月

「金南柱」『歴史批評』31巻 1995年  
「イデオロギー 詩とその運命 金南柱論」『葦牙』22巻 1998年  
「5・18と金南柱（ハングル）」ブルンスプ 『5.18は終わったか』（ソウル・ハングル）1999年5月  
「日本と在日を相対化する『酔いどれ船の青春』」月刊『オルタ』（13）2000年12月  
「1968年特集 急進的学生運動 日本」『歴史批評』52巻 歴史批評社 2000年  
「金石範文学が在日朝鮮人文学において占める位置」『龍鳳論叢』29巻（75-98）金南大学  
2000年  
「韓国人権問題」『人権と部落問題』692号（64-67）部落問題研究所 2002年8月  
「文富軒の挑戦 80年代運動圈内のファシズム論争に関する一考察」高麗大学アジア問題研究  
所 2003年2月

### 翻 訳

#### 単訳

張矢遠「日本帝国主義下の大地主の存在形態に関する研究」『立命館経営学』29巻1号 1990  
年5月  
カンナムン他「『資本論』の理解」『マルクス・エンゲルス・マルクス主義研究』11号 マルク  
ス・エンゲルス研究者の会 1990年9月  
高淑和「日帝下・衡平社の研究」『部落問題研究』110輯 部落問題研究所 1991年3月  
キムジンギョン「隸属社会における私学問題の本質」『立命館教育科学研究』1号 1991年3月  
鄭文吉「マルクス=エンゲルスの『ドイツ・イデオロギー』、『I. フォイエルバッハ』章の再  
構成 リヤザノフ以来の各種テキストについての比較検討（上）・（下）」『立命館経営学』30  
巻1号、2号 1991年7月  
洪性讚「日帝下・企業家的農場型地主制の歴史的性格」『立命館経営学』30巻5号、6号  
1992年3月  
崔章集「韓国の民主化移行と改革」『立命館国際研究』7巻3号 1994年12月  
崔章集『現代韓国の政治変動』木鐸社 1997年9月  
崔章集『韓国現代政治の条件』法政大学出版局 1999年3月  
玄基榮『地上に匙ひとつ』平凡社 2002年6月

#### 共訳

曹恩 『沈黙で建てた家』（秦花秀、村上尚子との共訳）（217-334）平凡社 2004年12月

